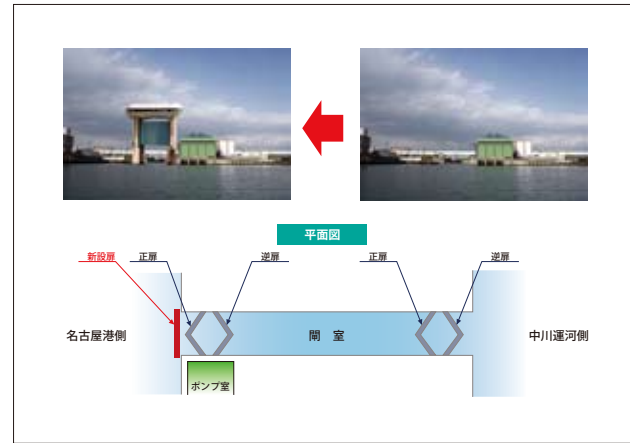


中川運河の津波対策用水門の設置と展望台の併設についての河村市長からの答弁。

私も、中川閘門と堀川口防潮水門を現場視察しましたが、両施設とも、背後地に住む市民の皆様の生命と財産を守る上で、大変重要な防護ラインであると認識しております。施設を管理する名古屋港管理組合も、しっかりとその認識を持って、早急に補強対策を検討してもらいたいと考えています。

中川口閘門の前に展望台を併設した水門を、とのご提案ですが、名古屋港管理組合では、早急に補強対策を検討すると同時に、来年度、中央防災会議で示される最大地震と最大津波に対する照査を行うと聞いているので、その中で、ご提案の形態も含めてしっかり検討し、機能を強化するよう働きかけたい。との回答を頂きました。



上下水道管の地震対策について議会質問

河川下・軌道下の下水道管について質問！

大規模地震等に備え、河川下・軌道下を横断する下水道管の耐震化を早急に実施すべきと考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。また、地震などでこれらの下水道管が破損した場合、被害箇所の把握や緊急時の対応をどのように行うのか。

河川下・軌道下の下水道管についての回答

下水道の地震対策につきましては見直しを行うこととし、平成24年度を初年度とする5ヵ年「下水道総合地震対策計画」を策定し、重要な幹線等の耐震化については従前の計画を前倒しして取り組むと共に、河川下・軌道下の下水道管については、最優先で耐震化を進めていきます。

また、破損時の緊急対応としては、調査箇所に優先順位を設定するなど被害状況や被害箇所の迅速で効果的な確認に努めると共に、管内部から止水するバルーンの使用など新たな処置方法についても検討を進めていきます。さらに、引き続き職員の訓練を継続的に行うことで地震時の対応を確実に実践できるよう努めていきます。との回答を頂きました。



軌道下の配水管について質問！

起動下を横断する配水管については、大規模地震により破損した場合、鉄道事故などの2次災害を引き起こす恐れがあるが、耐震化対策をどのように取り組んでいくのか。

また、発災時に備えた対応はどのようなものか。



軌道下の配水管についての回答

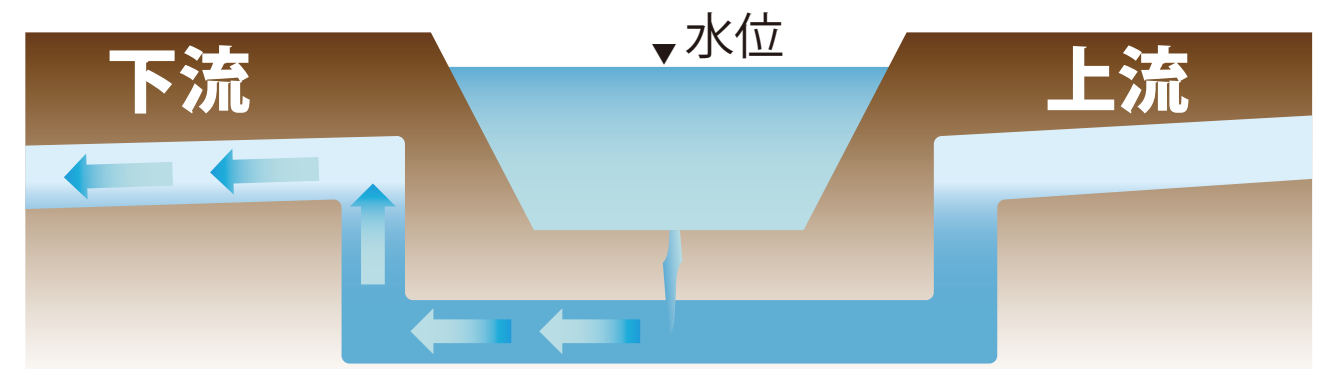
議員ご指摘のとおり、軌道下の配水管におきましては、管の種類によって耐震性の劣るものもあることから、軌道を管理する鉄道業者との調整を精力的に進めまして、危険度の高い管路から優先して、耐震化を進めてまいります。また、地震時に万一漏水した場合には、鉄道の運行に支障をきたすことが考えられます。そこで、こうした場合に備えまして、日頃より管路の点検や迅速な断水作業を行うためのバルブの点検を実施いたしますと共に、職員に対するバルブ操作研修を通しまして、緊急時に速やかに対応できますよう、引き続き取り組んでまいります。との回答を頂きました。

河川下・軌道下の管路の耐震化について質問！

軌道下、河川下のような危険度の高い箇所は、人身事故にならないように企業債等を活用するなど、一日でも早く入替工事をすべきと考えますが、どのように取り組んでいくのかお伺いします。

河川下・軌道下の管路の耐震化についての回答

河川下・軌道下を横断する管路の耐震化につきましては、最優先で取り組んでいく予定です。議員ご指摘のとおり、大規模地震時には管路の破損による2次災害の発生も予想されますことから、上下水道局として危機感を強く持ち、限られた財源のなか国庫補助やコスト縮減の取り組みなどを活用し、できる限り早く耐震化工事を完了してまいります。との回答を頂きました。



たゆまなく流れる